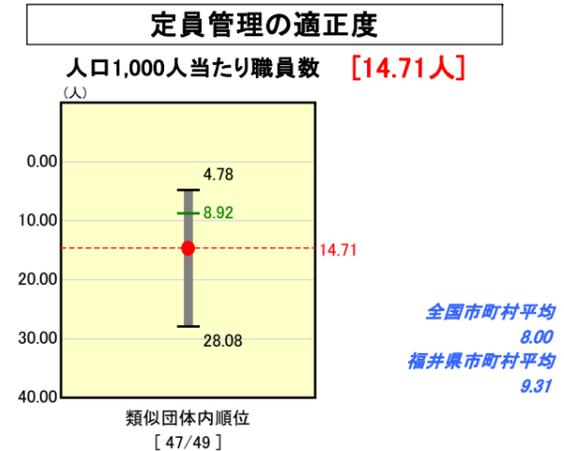
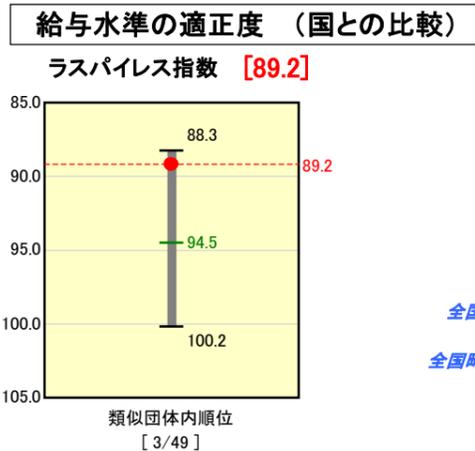
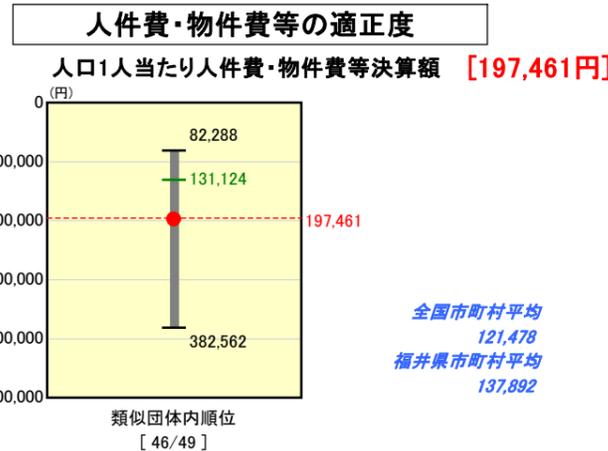
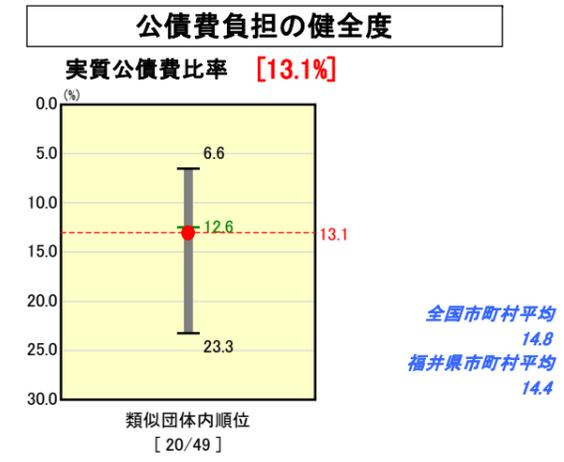
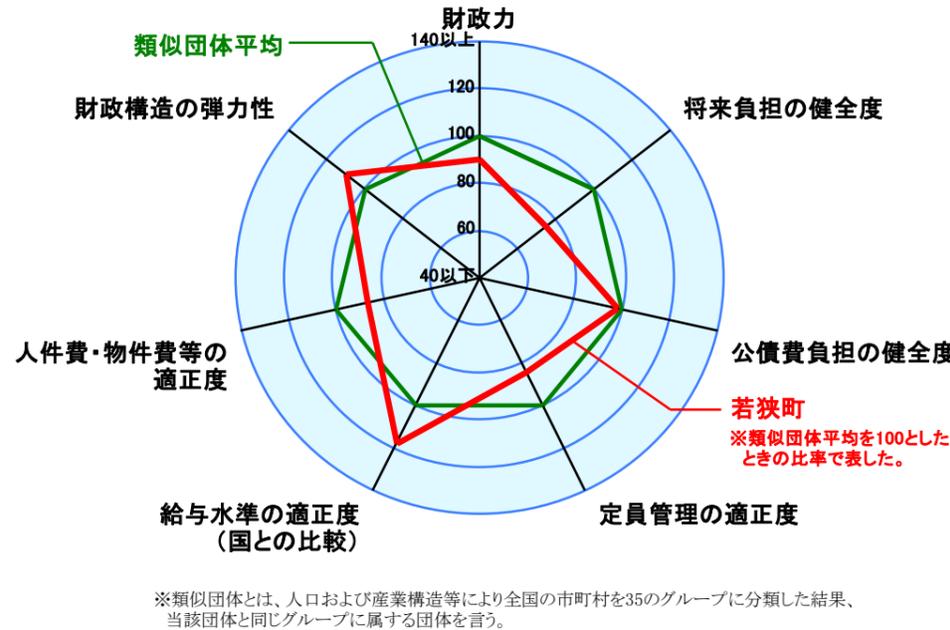
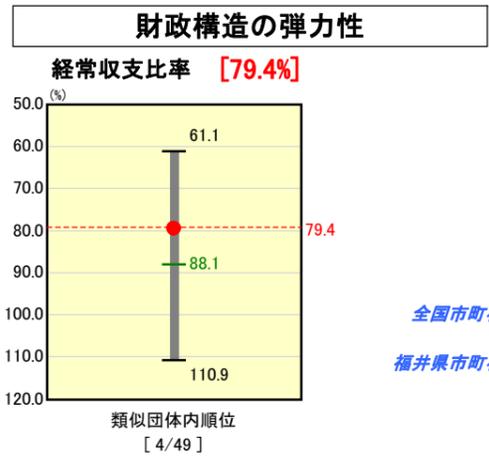
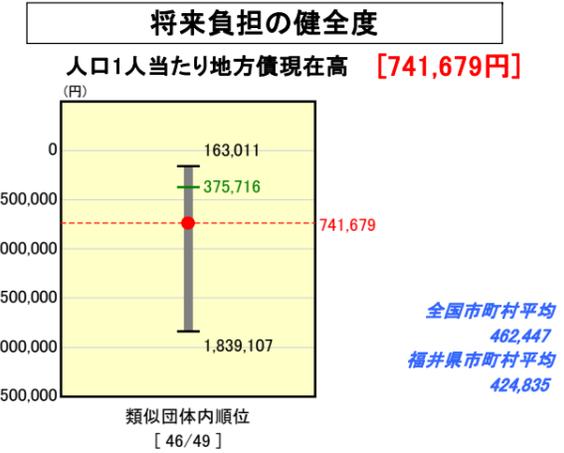
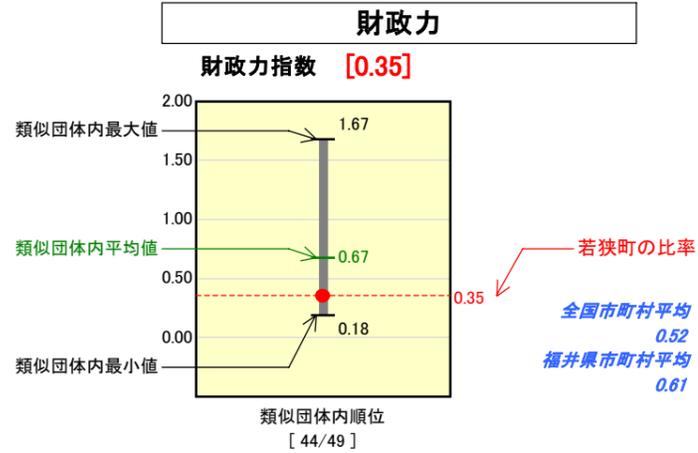


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福井県 若狭町

人口	17,271	人(H18.3.31現在)
面積	178.65	km ²
歳入総額	13,900,623	千円
歳出総額	13,538,618	千円
実質収支	280,237	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

※平成17年3月31日に、旧三方町、旧上中町が合併し、若狭町となった。

- 財政力指数**
人口の減少や高齢化に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱いのが現状である。また、長引く景気低迷による個人・法人関係の減収が影響し、類似団体平均を下回っている。限られた財源を活かし、活力あるまちづくりを展開するため、行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率**
地方税・地方交付税の減収・減額により経常収支比率が79.4%と前年度を上回っており、財政的には厳しい現状となっている。今後においても普通交付税の減額が見込まれることから、経常収支比率の増加が予想される。そこで、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持していく。
- 人口1人当たりの人件費・物件費等決算額**
合併により議員および特別職の人件費が減額となったものの、公共施設の改修をはじめとする合併関連事業の増加により、類似団体平均を上回っている。今後は、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく方針である。
- 人口1人当たりの地方債現在高**
類似団体平均を上回っている主要因として、平成10～11年度にかけて事業実施した縄文博物館建設と縄文公園整備事業および平成15～17年度に実施した福祉・保健総合拠点施設整備事業によるものであり、今後も合併関連事業への取り組みにより増加傾向にあるが、新規地方債の発行の抑制に努め、類似団体平均の水準になるよう努める。
- 実質公債費比率**
合併関連事業をはじめ普通建設事業費にかかる起債償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。町の総合計画に基づき、今後控えている大規模事業計画を整理し、住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、より有利な財源確保に努め、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。
- ラスパイレース指数**
採用抑制等により、昨年度から0.2ポイント上昇したが、類似団体と比較すると依然低い水準にある。合併後も財政状況は厳しく、人件費の抑制に努めている。
- 人口1,000人当たりの職員数**
集中改革プランに基づき、退職勧奨と退職者の補充抑制を行った結果、H18.4の職員数は普通会計ベースで前年比5名の減となったが、類似団体と比較するとまだ多い。今後、指定管理者制度の導入や臨時職員の活用などに取り組みとともに新規採用者の抑制を図り、職員定数の適正化に努め、平成17年度から平成22年度までに職員数の22人(6.5%)削減を図る。